

[2018 年度埼玉県公立高校の改編と定員変更]

埼玉県教育委員会ら、埼玉県公立高校の 2018 年度募集定員が発表されました。昨年まで秋に発表されていたので、発表が繰り上がりました。

まず、県内国公立中学校卒業予定者数は、2017 年度よりも 1,242 名減少した 64,356 名と見込まれていて、公立高校の募集定員は全県で 800 名の減少になります。このうち、すでに公表されている市立高校の再編・改編(市立川口・市立川口総合・市立県陽の統合と、市立大宮西の中等教育学校転換)に伴い、280 名募集定員が減少しますので、他の公立高校であと 520 名分の定員削減になりますが、実際には地域ごとの増減や教室数、改修工事等の関係もあり、7 校で各 40 名定員増、20 校で各 40 名削減になります。また、コース制 2 校でコースを廃止し、その分通常の普通科の定員を拡大します。

募集定員の増減はすべて全日制で行われ、定時制・通信制は変更ありません。

① 市立川口・市立川口総合・市立県陽の統合

この 3 校は、すでに公表されている計画通り 2018 年度から川口市立高校として統合・開校となります。募集定員は普通科 320 名、同文理スポーツコース 80 名、理数科 40 名で、普通科内に特進クラスの設置を予定していますが、入学後の選抜になります。2017 年度の募集定員は 3 校合計で 280 名でしたから、40 名の削減になります。なお、市立県陽高校定時制も川口市立高校に移管されますが普通科 80 名商業科 40 名が普通科のみ 120 名となります。

② 市立大宮西の中等教育学校転換

こちらもすでに公表されている通り、6 年間一貫の「さいたま市立中等教育学校(仮称)」に転換し、定員 240 名の市立大宮西高校としては募集を停止します。なお、中等教育学校の開校は 1 年先の 2019 年春になります。

③ コース制の廃止

白岡高校の普通科情報コミュニケーションコース(定員 40 名)と上尾橘高校の同情報コース(定員 80 名)は通常の普通科に転換し、募集を停止します。通常の普通科は両校とも 200 名募集に拡大します。

④ その他の定員拡大

通常の普通科ばかり 7 校で定員を各 40 名拡大します。()は拡大後の定員です。大宮東(280 名)、川口青陵(320 名)、川越(400 名)、川越女子(400 名)、蕨(360 名)、市立浦和(360 名)、市立大宮北(320 名)、蕨・外国語と市立大宮北・理数は変更ありません。

⑤ その他の定員削減

通常の普通科は 19 校で定員を各 40 名削減します。()は削減後の定員です。朝霞西(320 名)、入間向陽(320 名)、浦和第一女子(360 名)、浦和西(360 名)、大宮(320 名)、大宮光陵(160 名)、大宮武蔵野(240 名)、春日部(360 名)、川口(320 名)、川口北(360 名)、川口東(280 名)、川越西(320 名)、越谷北(320 名)、坂戸西(320 名)、羽生第一(200 名)、飯能南(120 名)、深谷第一(280 名)、宮代(200 名)、鷲宮(240 名)、大宮・理数、大宮光陵・外国語、同・音楽、同・美術、同・書道、越谷北・理数、飯能南・スポーツは変更ありません。また、松伏は通常の普通科の定員は 120 名のままですが、普通科情報ビジネスコースは 80 名から 40 名に定員を削減します。音楽は 40 名定員で変更はありません。